ネットワーク情報配信プラットフォームとしての高自由度映像方式 - パイパーリンクムービーの実現 -



研究目的

世代を越え、生活環境の差を越えて利用が可能であり、多様な個人の ニーズに応える新しい情報メディアの実現

研究内容・期待される研究成果

ハイパーリンクムービー ―

インターネットとテレビ映像を融合した。新しいコンセプトで 実現されるネットワーク情報配信型の映像方式。

- 従来の映像メディアには無い制御軸(ネットワーク情報アクセス)を保持■ 高い自由度をユーザに提供
- ネットワーク上に存在する情報からユーザが希望する情報を自動的に 検出する自律学習型情報検索ロボットを含む

→ 多様な個人のニーズに応える

研究成果の社会的意義・社会への波及効果

最大の普及メディアであるTVの鑑賞方式を採用

- ユーザが意識せずに、ネットワーク情報にアクセスが可能
 - → ユーザは何ら特別な技術を必要としない
- 従来のユーザが自発的にネットワークへのアクセス行為を行わなければ情報が得られない形式と異なる

ネットワーク情報の流通と利用の活性化 新たなブロードパンド利用者層の開拓